

# セカンドオピニオンについて

がんの診療では、患者さんやその家族が担当医と十分に話し合い、納得して治療を受けることが大切です。病気や治療への理解を深め、より納得して治療を受けるために担当医とは別の医師に相談できることを、セカンドオピニオンといいます。

セカンドオピニオンは現在の担当医のもとで治療を受けることを前提に利用するものであり、転院して別の医師のもとで治療を受けることではありません。

セカンドオピニオンは、患者さん自身の決断を支援する仕組みの1つであり、よりよい医療を納得して受けられるように認められている権利です。担当医に気を遣ったり、遠慮したりする必要はありません。セカンドオピニオンを受けることで、病気や治療への理解が深まり、納得して治療に臨むことにつながることがあります。

デメリットとして、セカンドオピニオンの受診に必要な費用は、自由診療なので全額自己負担になります。受診には手間と時間がかかりますので、がんの種類や進行の状況によっては、治療の選択を迷っている間に病状が進行する場合があります。

こんなことでお困りではないですか？

- がんと診断されて担当医から説明を受けたが、診断について別の医師の意見を聞きたい
- がんと診断され、治療選択について説明を受けたが、決められない
- 再発の診断を受けたが、担当医が提示する以外にも治療の選択肢がないかを知りたい

私たちが相談にのります

まずは治療担当医へご相談ください。  
がん相談支援センターでもご相談できます。

詳しく知りたい方はこちら

